

- 害獣の捕獲を正確に、迅速に、スマホに知らせてくれる低コストなLPWA無線通信システムです。
- メカニカルなセンサーと、赤外線感知センサーのダブルチェックで空ハジキの判別ができます。
- 赤外線感知センサーの情報は動物の生態調査やワナ位置の妥当性チェックに役立ちます。

企業概要

エナジーワイヤレス(株)(東京)
TEL:042-785-5529

- ✓ ICTシステム構築を得意とし、無線通信システムのハード、ソフトの開発・製造を中心に事業を展開しております。
- ✓ 害獣捕獲検知・メール通報、工場の設備稼働監視、太陽光発電状態監視、などのシステムを官公庁様・地方自治体様や、各種メーカー様にお納めしております。



センサー局 128x105x88mm



親局 120x205x48mm

機器情報

機器の概要

◇捕獲をメールで通知

- ・LPWA無線通信で長距離伝送が可能
- ・10台以上の多段中継ができ、どんな地形からでも通信

◇空ハジキ判別

- ・マグネット/赤外線のハイブリッドセンサー方式で空ハジキを判別

使用目的

- ◇捕獲通知(箱わな、くくいわな)
- ◇害獣の出没、行動、習性などの調査
- ◇ワナ設置場所妥当性チェック

対象獣種

シカ、イノシシ、クマ、アライグマなど

活用技術

- 920MHz帯LPWA特定小電力無線
- LoRaスペクトラム拡散変調方式
- カスタマーオリエンテッド無線モジュール
- パッシブ型赤外線センサー
- 中継機搭載ドローン

導入実績

➢ 導入地域

- ・長野県小諸市
- ・林野庁東信森林管理署
- ・林野庁愛知森林管理事務所

➢ 実証地域

- ・北海道岩見沢市 原田様ファームリングサポート 実証試験中
- ・愛知県 実証試験中
- ・長野県大岡 実証試験中

➢ 導入効果

- ・わな見回り作業の軽減
- ・わな設置場所妥当性のチェック

イニシャルコスト、ランニングコスト

- 機器費用はシステム規模によって変わります。ご相談ください。
- センサー局の電源は乾電池(充電式可)です。中継局はソーラーパネルで電源供給します。
- 親機をWiFiやLANなどのインターネット環境に設置すれば、センサー局や中継局を何台使っても電話回線使用料はかかりません。